

ごみステーションの
カラス対策ガイドブック



平成30年3月

米子市

はじめに

私たちが出す生ごみは、市内に住む野生生物にとっては格好の食べ物です。対策を取らないままではこれらの野生生物に荒らされるままになってしまい、地域的美観を損ね、清掃の手間もかかることになってしまいます。

平成26年に実施した市民アンケートでは、ごみステーションについて、16.1%の方が「カラス等の動物による散乱がある」と回答されました。

野生生物の中でも、特に「カラス」は学習能力に優れているため、なかなか有効な対策が取りにくいとされています。

皆様のごみステーションでは、カラス被害が起きていませんか？

このたび、カラス被害を防ぐためのガイドブックを作成しました。

是非このガイドブックを参考にいただき、カラスの生態を知り、その上で有効な対策を取ることでカラス被害を防ぎ、散乱ごみのない、きれいな住みよい地域をつくりましょう。

平成30年3月

米子市環境事業課



目次

カラスを知ろう・・・・・・・・・・・・・・・・	1
カラスに荒らされないために・・・・・・・・	2
ごみ出しのルールを守りましょう・・・・・・・・	2
カラスがごみに近づけないようにしましょう・・・・・・・・	2
ボックスが設置できる場所なら・・・・・・・・	2
ネットを上手に使いましょう・・・・・・・・	3
生ごみが見えないように工夫しましょう・・・・・・・・	6
生ごみを減らしましょう・・・・・・・・	7
みんなで協力しましょう・・・・・・・・	8



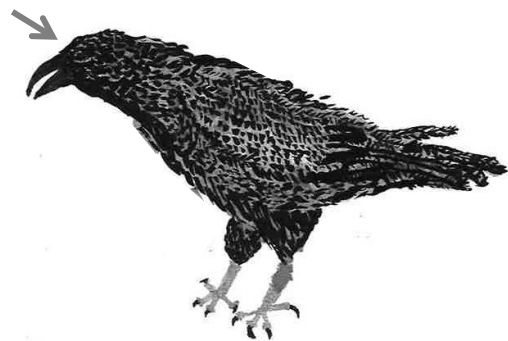
カラスを知ろう

日本には5種類のカラスがいますが、私たちが市内で見かけるカラスは「ハシブトガラス」と「ハシボソガラス」の2種類です。

		ハシブトガラス	ハシボソガラス
形態	全長	約 56 cm	約 50 cm
	体重	550~750g	320~690g
	姿	くちばしが太く、額が出っ張って見える	くちばしが細く、額がなだらかに見える
鳴き声		カア、カアと澄んだ声	ガア、ガアと濁った声
行動	移動方法	跳ねることが多い	2足で歩くことが多い
	いる場所	樹上にいることが多い	よく地上に下りる
生息環境		山地の森林に住むが、近年都会に増えている	農耕地や河川敷のような開けた環境に多い
食性	特徴	雑食	雑食
	好むもの	樹木の種子、肉類	農作物、コガネムシなど昆虫



ハシブトガラス



ハシボソガラス

どちらも雑食性で、共通の習性に貯食があります。貯食は、食べ物を隠しておいて食べ物の少ないときに取り出して食べる習性です。食べ物の多い時に得ることができたものを確保しておき、食べ物の少ないときに取り出して食べ、生き延びることができます。

貯食をするということは、隠しておいた場所を覚えておかななくてはなりません。カラスが記憶力にすぐれているわけは、この貯食習性にあるといわれています。

カラスに荒らされないために

ごみ出しのルールを守りましょう

まず、ごみ出しのルールを守ることが大切です。

- 決められた収集日の
- 朝8時30分までに
- 正しい出しかたで
- 決められた場所に出しましょう

前の日の夜から出したり、ごみ収集後に出すと、カラスに荒らされる原因となります。

カラスがごみに近づけないようにしましょう

ごみステーションにCDをぶら下げたり、きらきら光るテープをぶら下げたりするのは、カラスの警戒心を利用したカラス対策です。しかし、当たり前の光景になってしまえば、学習能力の高いカラスは慣れてしまい、効果がなくなってしまいます。

カラス被害を防ぐには、ボックスやネットを使用して、カラスからごみを物理的に遠ざける方法が有効です。

ボックスが設置できる場所なら…

据え置き式のごみ収納ボックスを設置できる場所では、ボックスの使用が効果的です。市販のごみ収納ボックスを使用したり、木の枠（箱）を作ってネットを掛けるという方法もあります。

ボックスの設置を検討される際は、事前に環境事業課までご相談ください。

ボックスが設置できない場所では
ネットを使うのがおすすめ！



ネットを上手に使いましょう

ネットを掛けることは、適切に実行されれば、簡便かつ低コストで、カラスによるごみの散乱を最小限に食い止める有効な方法といえます。ボックスが設置できない場所ではネットをするようにしましょう。

ただし、有効なはずのネットも、簡便なだけに上手に使わないと効果はなくなってしまう。次のことに注意しましょう。

網目の大きさ

網目の大きさは、5mm目以下の細かい方が有効です。

ホームセンターなどでは様々な鳥獣用のネットが販売されていますが、網目の大きさに気を付けましょう！



10mm×7mmの網目

この網目の大きさだと
つかれるかも…



4mm×4mmの網目

これなら大丈夫！



ネットに穴が開いたら補修を
することも大切！

重さとおもり

目の細かいネットは、軽いために風であおられる、カラスが下から頭を入れてごみに近づくことができる、破れやすいなどの欠点があります。そのため、ネットの一部に物干し竿などで重しをするなどの工夫が必要です。

ホームセンターやインターネットでは、ネットの端にチェーンやロープの重しを付けたものが販売されています。風にあおられることもなくカラスも頭を入れにくくなるので有効です。



端にロープの重しが入っているため、ネットが浮きにくくなっています。

すき間をなくす

壁面などにネットを掛ける場合、横にすき間がある例がみられます。横に三角のネットを縫い付けると、すき間がなくなり有効です。



ネットも掛けて、おもしろ物干し竿もついています、横にすき間が…

三角のネットを付けることで、横のすき間がなくなった！

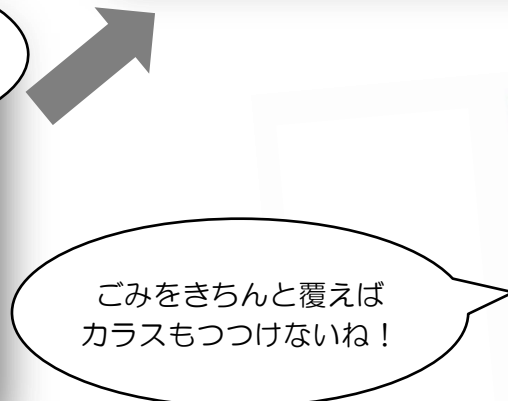


※後ろにも気を付けましょう！

ネットにきちんと入れる

せっかくネットを使用しているも、ごみのはみ出ていると意味がなくなってしまいます。ごみをネットでしっかり覆い、ネットの上にごみを置いたり、ごみの一部がネットからはみ出すことのないようにしましょう。

みんなでマナーを守ることが大切です。



ネットの大きさ

ネットが小さすぎるとごみをきちんと入れられず、「どうせ入れても…」とマナー違反につながる場合もあります。ネットの大きさは出されるごみの量に合わせて工夫し、みんなが出しやすいようにしましょう。ごみ袋をネットで完全に覆うため、ごみの量が多いステーションでは複数のネットに分けて入れるのも一案です。



黄色のネットについて

カラスに黄色が見えないわけではありません。米子市では以前、黄色のごみ袋を使用した実験を実施したことがあります。実験の結果、カラス対策に一定の効果があることは認められましたが、それはこの袋に特殊な顔料が入っているためで、人と異なる視覚を持つカラスが中身を見ると、中に食べ物があるかどうか分からなくなってしまい、つつくことが少なかったと考えられています（なお、この黄色の袋は、袋の価格が高額であることなどから米子市では導入していません）。ただ黄色いだけでは効果がないのです。

ネットには穴があいています。中身は普段見ている色と同様に見えるので、色は黄色にこだわらなくてもよいでしょう。

生ごみが見えないように工夫しましょう

カラスは目が良いため、袋越しに生ごみが見えると狙われます。生ごみが見えないように、新聞紙やチラシで包んで出すのも手です。

この際、ごみ全体をチラシや新聞紙で包んでしまうと、中に何が入っているのかわからず、不適物かどうかの判断ができなくなってしまいます。包むのは生ごみだけにしてください。

また、袋の真ん中に生ごみを入れるのもいいでしょう。



生ごみを減らしましょう

カラスなどの野生生物の被害を防ぐには、生ごみを減らすことが大切です。「食品ロス」とは、「まだ食べられるのに捨てられる食品」のこと。日本の食べ残しなどの食品ロスは年間約621万トン。なんと、米の年間生産量に匹敵し、1人あたりに換算すると、おにぎりを毎日約1～2個分捨てていることとなります。このうち半分は家庭から出される生ごみです。

家庭から出る生ごみを減らすために、「買いすぎない」「使い切る」「食べきる」ことを心がけましょう！

今日からできる、食べきり10アクション

食べものを無駄にするのは、もったいない！
食品ロスを減らすため、毎日の生活を見直してみましょう。

米子市では食べきり運動に取り組んでいます。
みんなでやってみよう！

買い物では

- 1 食品を買いすぎない（買い物前に冷蔵庫のチェックを！）
- 2 ばら売り、量り売りなどを利用（無駄なく必要な分だけ購入を！）
- 3 賞味期限や消費期限の残り期間が短いものを選んで早めに使い切る



料理では

- 4 週に1回は「冷蔵庫一掃デー」（消費期限が近い食品を使い切り！）
- 5 作りすぎない（食べられる適量を！）
- 6 捨てていた野菜の皮や残った食品を他の料理に利用（食品を使い切り！）

食事では

- 7 残さず食べる（好き嫌いなく！）
- 8 早めに食べる（残った料理は適切に保存を！）
- 9 外食では食べられる量を注文（小盛りメニューの利用や宴会での食べきり呼びかけ！）

それでも出てしまう
食品ロスは…

- 10 ダンボール堆肥や生ごみ処理機で堆肥化して利用

米子市では、生ごみの減量・リサイクルに積極的に取り組んでいただくため、生ごみ処理機と生ごみ処理容器の購入費の一部を補助しています。

補助を受けていただくには、購入前の申請が必要となります。詳しくは、購入前に環境政策課（23-5259）までお問合せください。

また、環境政策課では、ダンボール堆肥の作り方をご案内しています。興味のある方は環境政策課（23-5259）までお問合せください。

みんなで協力しましょう

カラス被害を防ぐには、なんといってもごみを出される皆さんの協力が必要です。せっかくネットを使っても、はみ出して出す人がいたら意味がありませんので、はみ出さないように気を付ける、はみ出ているごみがあればネットに入れるなど、地域の皆さんで協力して、ごみが散乱することのないきれいな住みよい地域をつくりましょう。



目指そう！
きれいな住みよい
まちづくり！

参考文献：

「自治体担当者のためのカラス対策マニュアル」（環境省自然環境局 編集・発行）

イラスト：Rintarou、Mone、Moka

分別にアプリを使ってみよう！

4月からスマートフォンやタブレット端末で、ごみの収集日の確認や分別方法などを簡単に調べることができるアプリ「**さんあ〜る**」の配信を始めます。

ごみの収集日をお知らせする通知機能もあります。ぜひ、ご利用ください！

ダウンロードはこちらから！
または「さんあ〜る」で検索！

Android



Google Play

iOS



App Store



アプリアイコン
「さんあ〜る」

※無料アプリですが、利用には通信料がかかります。

※ダウンロード後にアプリを立ち上げ、お住まいの収集校区を選択してください。

編集・発行

米子市 市民人権部 環境事業課

〒683-0852

米子市河崎 3280-1

☎0859-23-5300